

# 宇都宮市学校教育基本計画【概要版】

【子どもと教師が変わる 地域がつながる】

## 第1章 計画の概要

### ◆ 策定の趣旨

平成18年度より「うつのみや教育改革」として、教育全般において総合的に人づくりを推進し、学校教育においては、児童生徒に知・徳・体のバランスの取れた教育を展開し、自らを高め社会の中でたくましく生きる力などの「人間力」を育成している。

この教育改革の一環として、より一層の基礎学力の定着や十分な学校生活適応を目指すとともに、義務教育の水準向上を目指す新たな学校教育制度の構築を模索する必要がある。

### ◆ 位置づけ

平成17年度策定の「学校教育推進計画」の「新たな学校教育に向けた積極的な取組」を具現化し、本市の目指す学校教育を実現するための学校教育制度を示した基本計画

・心豊かでたくましく人づくりを目指す「宮っこ未来ビジョン」の個別計画

### ◆ 対象

全小中学生を対象とし、学校生活適応や学力向上、子どものよさの伸長を目指した今後の宇都宮市小中学校教育制度の基本的な考え方と具体的方策を示すことにより、新たな学校づくりを行うもの

### ◆ 期間

平成20年度～平成29年度までの10年間

## 第2章 現状と課題

### 1 本市小中学校を取り巻く社会環境

- (1) 社会環境の変化  
ア 少子化  
イ 高度情報化  
ウ 国際化  
エ 社会の階層化  
オ 若年失業者の顕在化
- (2) 社会のニーズの多様化
- (3) 私立小中学校、県立小中学校の特色化

### 2 本市小中学校教育に係る現状と課題

- (1) 教育内容と指導方法  
ア 学習に関する現状と課題  
イ 豊かな心等に関する現状と課題  
ウ 健康・体力に関する現状と課題
- (2) 小中学校教育制度の現状と課題  
ア 6・3制  
イ 魅力ある学校づくり地域協議会  
ウ 通学区域制度  
エ 認定就学地点校制  
オ 研究開発校制度

## 第3章 本市が目指す小中学校教育

○ 21世紀を担う「宮っ子」を育成するため、5つの学校教育を推進する。

### 1 基礎・基本の定着と体力向上を図る

- 学校教育  
・ 知識や技能などの基礎学力、社会生活を営む上で必要な思考力・判断力の定着
- ・ 健康の保持増進と体力向上

### 2 豊かな心を育てる学校教育

- ・ 人間のよさや自然の美しさ、生命の尊さの理解
- ・ 思いやりの心や未来に対する夢や希望の育成

### 3 人や社会とかがわる力を育てる学校教育

- ・ 異なる文化や生活習慣を互いに尊重し、共に生きようとする態度の育成
- ・ 社会生活をすすめる上で必要とされる社会性の基礎定着

### 4 職業人としての基礎をはぐくむ学校教育

- ・ 生活の基盤となり、生計を支え、生きがいにつながる職業観や勤労観の育成
- ・ 企業等との連携したキャリア教育の展開による学ぶ意欲高揚

### 5 子どもの「よさ」を伸長する学校教育

- ・ 児童生徒の「夢」の実現に向け、子ども一人一人の自信の育成
- ・ 発達段階に応じた適切な指導の徹底による、児童生徒の「よさ」の伸長

## 第4章 本市小中学校教育制度の在り方

### 1 本市学校教育に求められる教育制度

本市が目指す5つの小中学校教育の目標実現のために、教育内容や指導方法の着実な推進を図るとともに、有効な指導方法により教育内容が十分に定着することを目的とした教育制度の構築が必要  
また、義務教育のニーズに応じながらも、本市学校教育の先駆的な研究を推進する制度が必要

### 2 本市学校教育制度構築の基本的な考え方

#### (1) 学力向上と学校生活適応を目指す

- 全小中学校を対象とした教育制度の構築
- ・ 小中学校9年間の教育内容や指導方法をひとまとまりとし、それらの系統性を図ることで、子どもの発達段階に応じたきめ細かな教育を展開
- ・ 地域ごとの特色ある教育資源を十分に活用できる「地域学校圏」を設置し、地域との連携を十分に図りながら学校教育を展開

※「地域学校圏」＝市域を25のエリアに分け、義務教育を推進するためのネットワークを作り、地域の実情に応じた教育内容や指導方法を開発するなどして、質の高い教育を実現するもの

## 第5章 本市小中学校における新たな教育制度

### 1 小中一貫教育制度

#### (1) 目的

- ◆ 学力の着実な定着・向上
- ◆ 発達段階に応じた豊かな心の育成
- ◆ 学校生活への適応 など
- ◆ 健康の保持増進と体力向上
- ◆ コミュニケーション力向上 など

#### (2) 展開

- 【子どもが変わる】  
・ 「基礎期」「活用期」「発展期」に分け、身に付ける力の重点化
- 【地域がつながる】  
・ 「全小中学校で取り組む小中一貫教育」と「地域学校圏における小中一貫教育」の2つの観点から展開

#### 【教師が変わる】

- ・ 当面は既存の施設を活用し、小中の教育内容や指導方法を工夫
- ◆ 教育内容  
・ 「国語科、算数・数学科」－基礎基本の着実な定着  
・ 「元氣アップ教育」－健康の保持増進と体力向上  
・ 「宮っ子の教育」－豊かな心の育成  
・ 「会話科・英会話」－コミュニケーション力育成  
・ 「宮・未来キャリア教育」－勤労観・職業観育成 など

#### ◆ 指導方法

- ・ 教科担任制の推進
- ・ 複数教員による指導の充実
- ・ 児童生徒指導の充実・教育相談
- ◆ 教員人事・組織設置  
・ 小中一貫教育交流人事 など

## 第6章 計画の展開

- ◆ 小中一貫教育推進事業
- ◆ 宮未来フロンティア制度推進事業概要、スケジュール など

## 第7章 小中学校教育制度の推進にあたって

- |   |             |   |              |
|---|-------------|---|--------------|
| 1 | 教職員の資質向上    | 2 | 人的配置の推進      |
| 3 | 小中一貫推進組織の整備 | 4 | 市内教職員の人事交流推進 |
| 5 | 9年制教育学校の整備  | 6 | 関係機関との連携     |
| 8 | 通学区域の検討     | 9 | 学校事務の軽減化     |
|   |             | 7 | 学校評価         |

## 2 宮未来フロンティア制度

### (1) 目的

- ◆ 本市学校教育の先駆的研究の推進とその成果の全市的反映  
(特区申請、本市による指定)
- ◆ 宮未来フロンティア校の指定

### (2) 展開

- ・ 本市学校教育の先駆的研究を推進し、その成果を全市に反映する学校を指定すること、本市教育水準向上を目指す。
- ◆ 研究開発校  
・ 複数の教科等を統合したり、教科等の教育内容の連携を図るなどの研究の推進  
・ 本市の実情に応じた学校教育を先駆的に研究する学校を、公募方式などを活用して指定
- ◆ 9年制教育学校  
・ 教育のシステムを統一した小中一貫教育を実施し、より一層の学力向上、多様な表現力、社会性などを育成

### (3) 配置

- ・ 地域性等を勘案した学校配置 など